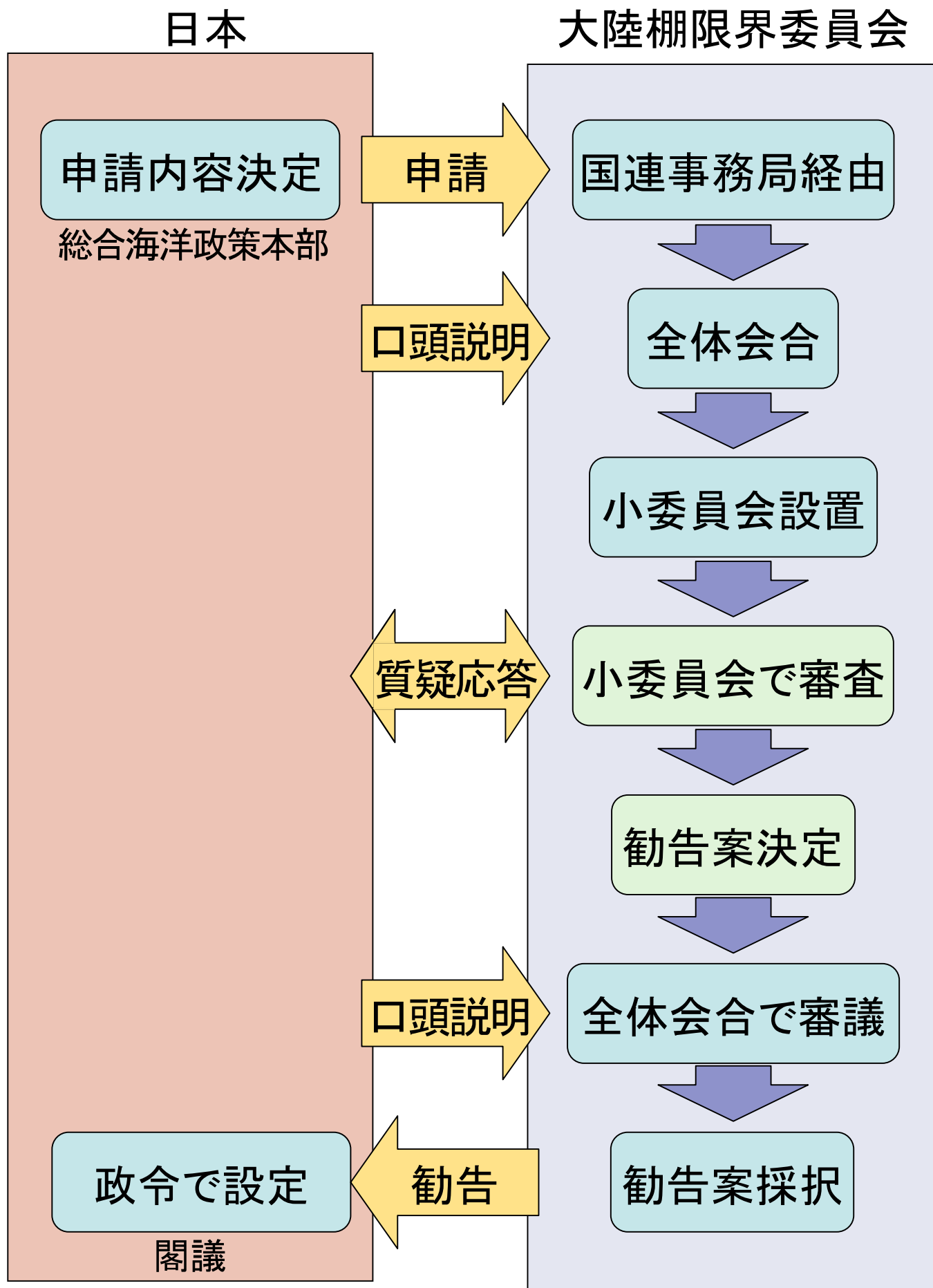


大陸棚の限界設定に向けた今後の対応方針（案）

平成 20 年 6 月 10 日
総合海洋政策本部境界海域チーム

1. 大陸棚の限界設定に関しては、次の内容について、本部決定を求めることとする。
 - ① 我が国の基線から 200 海里を超えて大陸棚を設定するため、国連海洋法条約第 76 条の規定に基づき、我が国が「大陸棚の限界に関する委員会」に提出する当該大陸棚の限界
 - ② 同条第 8 項及び同条約附属書Ⅱ第 4 条に基づき、①の大陸棚の限界についての詳細及びこれを裏付ける科学的及び技術的データを、大陸棚調査評価・助言会議の評価・助言を得て、平成 21 年 1 月までに「大陸棚の限界に関する委員会」に提出すること
 - ③ ①及び②の提出後の、「大陸棚の限界に関する委員会」の審査開始から勧告が出されるまでの間の必要な調整については原則として総合海洋政策本部幹事会に行わせること
2. 我が国の大陸棚の限界に関する情報を「大陸棚の限界に関する委員会」へ提出後の、同委員会における審査への対応については、内閣官房の総合調整の下、外務省が中心となり、文部科学省、経済産業省及び国土交通省が連携して実施していくこととする。

大陸棚限界設定の流れ



大陸棚調査評価・助言会議構成メンバー

- | | |
|--------------|--|
| 浦辺 徹郎 | 東京大学教授 |
| 金田 義行 | 独立行政法人海洋研究開発機構
海洋工学センター海底地震・津波ネットワーク開発部部長 |
| 栗林 忠男 | 慶應義塾大学名誉教授
総合海洋政策本部参与（参与会議座長） |
| 平 朝彦
（議長） | 独立行政法人海洋研究開発機構理事
総合海洋政策本部参与 |
| 玉木 賢策 | 東京大学教授
国連「大陸棚の限界に関する委員会」委員 |
| 徳山 英一 | 東京大学教授 |

各国の大陸棚限界情報の審査及び提出の状況

1) 審査の状況(申請11件、勧告済み4件)

国名	提出	審査/勧告
ロシア	2001年12月	2002年6月勧告発出
ブラジル	2004年5月	2007年4月勧告発出
オーストラリア	2004年11月	2008年4月勧告発出
アイルランド	2005年5月	2007年4月勧告発出
ニュージーランド	2006年4月	小委員会の審査終了 全体会合での審議入り
英・仏・西・アイルランド共同	2006年5月	小委員会において審査中
ノルウェー	2006年11月	小委員会において審査中
フランス	2007年5月	小委員会において審査中
メキシコ	2007年12月	小委員会設置、審査待ち
バルバドス	2008年5月	本年8月以降に審査開始
イギリス	2008年5月	本年8月以降に審査開始

2) 各国の提出見込み(2008年1月国連事務局の資料による)

○ 今後提出を予定している国は、わが国を含め43ヶ国(既提出国で今後追加申請又は再申請を行う国を含む)。

○ 国別提出予定時期

- | | |
|-----------|----------------|
| ● ナミビア | 2007年12月 |
| ● ウルグアイ | 2008年7月以降 |
| ● ミャンマー | 2008年12月 |
| ● パキスタン | 2008年中 |
| ● 南ア | 2008年中:部分申請 |
| ● 日本 | 2009年1月 |
| ● カーボヴェルデ | 2009年4月 |
| ● ポルトガル | 2009年4月 |
| ● 23ヶ国* | 2009年5月(まで) |
| ● 4ヶ国 | 2009年5月以降 |
| ● 8ヶ国 | 提出時期を明らかにしていない |

*バルバドスは、2009年5月13日に提出すると回答したが、2008年5月に申請を提出

*イギリスは、2009年5月までに提出すると回答したが、2008年5月に部分申請を提出